

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

実施計画

平成28年7月7日現在



第16回障害者芸術・文化祭実行委員会

目次

基本理念、名称、愛称・ロゴマーク、主催 マスコットキャラクター	…… 01
開催期間、開催日程等	…… 02
企画体制	…… 03
企画概要	…… 04
事業内容	…… 05
開催会場	…… 12
連携事業	…… 13
あいち大会の特徴	…… 15
協力、後援	…… 16

基本理念

- ・障害者芸術・文化祭は、障害のある方の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害のある方の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害のある方の自立と社会参加の促進に寄与することを目的に開催します。
- ・愛知県では、従来より障害のある方の社会参加の促進に積極的に取り組んでおり、「あいちアール・ブリュット展」を実施するなど、障害のある方の社会参加の機会拡大を図ってきました。
- ・障害者芸術・文化祭の開催を機に、全国的な交流を通じ、障害のある方の社会参加と障害のある方に対する理解の更なる促進を図ります。

名称

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

愛称・ロゴマーク

ゲイジユツのチカラ・あいち

芸術には、作る人・見る人、そして、障害のある人・ない人の心を変える大きな力がある。そういう大会になって欲しいという願いをこめた。



主催

厚生労働省、愛知県、名古屋市

マスコットキャラクター

愛知県の文化事業のマスコット「からくりロボットの“ブンゾー”」をマスコットキャラクターとして活用し、「第31回国民文化祭・あいち2016」と連携を図りながら、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」の開催気運の醸成と参加意欲の喚起を図ります。



からくりロボットの“ブンゾー”

(モチーフ)

からくり人形師九代 玉屋庄兵衛氏の「茶運び人形」。からくり人形は、愛知の伝統的文化の一つである山車まつりの花形であり、その技術は、「モノづくりあいち」のルーツといわれる。愛知には、数多くのからくり人形が残されており、愛知の文化を象徴する存在の一つである。

開催期間

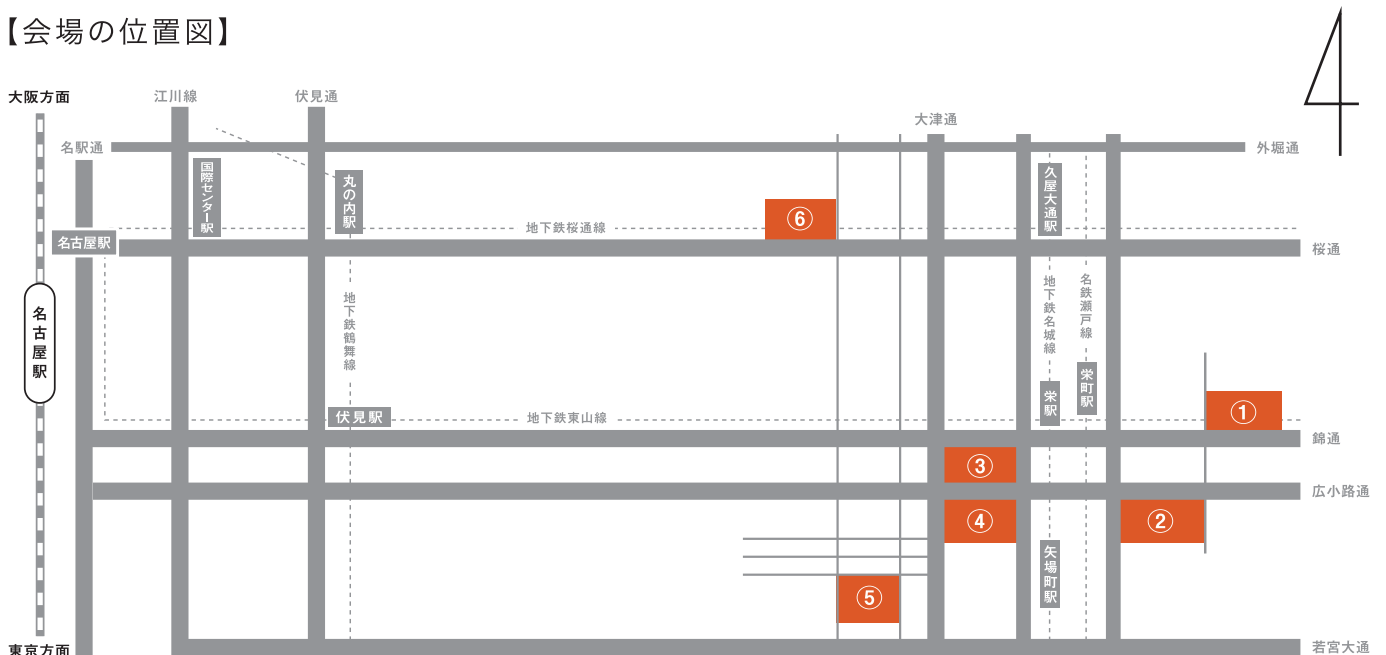
平成28年12月9日(金)～11日(日) ※美術・文芸作品展は12月3日(土)～11日(日)

開催日程等

開催日 事業内容	平成28年12月								
	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)	7日 (水)	8日 (木)	9日 (金)	10日 (土)	11日 (日)
美術・文芸 作品展	愛知芸術文化センター ^① (12/3国民文化祭閉会式<大ホール>)						【開会式】 <大ホール>		
	名古屋市民ギャラリー栄 ^②								
							(株)三井住友銀行SMBCパーク 栄 ^③ 名古屋栄三越 ^④		
舞台芸術							ナディアパーク ^⑤ (名古屋青少年文化センターアートピアホール) 損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール ^⑥		
ふれあい 交流							愛知芸術文化センター ^① 名古屋栄三越 ^④ ナディアパーク ^⑤ 【閉会式】 <ナディアパーク>		

※今後の展示・舞台等の内容により、上記区分と異なる場合があります。

【会場の位置図】



※会場間及び会場と名古屋駅をつなぐ無料シャトルバスを運行予定

企画体制

(キュレーター)

鈴木 敏 春

NPO愛知アート・コレクティブ代表理事

1951年生まれ。1970年代から美術批評・企画展を行う。1989年～90年美術雑誌「美術手帖」展評担当。1991年(財)名古屋市文化振興事業団主催「無冠の表現回路エコロジーアート展」企画。2003年～2007年名古屋市・ファン・デ・ナゴヤ美術展審査委員・委員長。2014年、愛知県知的障害児者生活サポートセンター主催「第7回ふれあいアート展」で講演(ボーダーレスアートコレクション展を巡って)。2014年から、あいちアール・ブリュット優秀作品特別展審査委員を務める。

稲波 伸 行

株式会社RW 代表取締役

1975年 三重県出身。2001年名古屋芸術大学美術学部デザイン科卒業。2002年地域密着型デザイン事務所N/N(エヌツー)設立、2005年メイド・イン・ジャパン・プロジェクト設立に参画、2009年～2011年ナゴヤデザインウィーク実行委員長、2010年あいちトリエンナーレ2010、キッズトリエンナーレのコンセプトメイキング、空間・グラフィックデザイン等トータルプランニングを行う。あらゆるデザイン資源を活用し、社会や企業、団体の課題解決を目指す。大同大学非常勤講師。

今泉 岳 大

高浜市やきものの里かわら美術館 学芸員

1982年愛知県生まれ。武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業。BankART1929を経て2009年より現職。文化庁アール・ブリュット魅力発信事業調査員、滋賀県アール・ブリュット推進事業調査員、あいちアール・ブリュット優秀作品特別展審査委員。そのほか愛知教育大学非常勤講師、日本福祉大学講師を務める。

山口 未 樹

認定特定非営利活動法人ポパイ理事長、社会福祉士、精神保健福祉士

1974年生まれ。2011年より同法人にて開始し、ワークショップや展示会などを手掛ける。2014年、福祉を変えるアート化セミナー(たんぼの家、奈良)にて講師を務める。2015年より、障害者のアート活動をメインにした事業所「アトリエ・ブルート」をオープンさせ、創作活動と積極的な発表、発信を行っている。

山下 幸 司

NPO愛知アート・コレクティブ 理事

1961年生まれ。ギャラリーたかぎ、ICA名古屋、(社福)愛知県厚生事業団勤務。愛知県立心身障害児(者)療育センター第二青い鳥学園(現、愛知県青い鳥医療療育センター)、知的障害者更生施設愛知県弥富寮(現、愛厚弥富の里)等で絵画クラブに携わる。あいちアール・ブリュット出前講座講師。現在、アートプロジェクト運営、展覧会企画(「パーブルーム大学」展等)、美術ライター、心理臨床研究等に従事。

山田 梨 紗

株式会社RW

1988年生まれ。名古屋芸術大学デザイン学科スペースデザインコース卒業。2012年名古屋市中区長者町に活動拠点を構え、デザイナーとして活動中。主な実績として、ミラノサローネサテリテ2014 出展(デザイン、アートディレクション)。TOKYO DESIGNERS WEEK 2014 プロ展出展(デザイン、アートディレクション)。長者町トランジットマーケット(デザイン、企画運営)など。

(プロデューサー)

こかち ちかこ

<Dance Work こかち>代表。

津田塾大学学芸学部英文学専攻卒業。文化庁国内研修員。2005～2015年金城学院大学非常勤講師。1999年知的障害者ダンスグループ<オープンセサミ>を結成し、<Dance Work こかち><オープンセサミ>合同公演で2009年名古屋市民芸術祭特別賞受賞。2005年愛・地球博では5日間の障害者公演を企画実施。愛知芸術文化協会ANET理事。2013年あいちトリエンナーレではANET会員による『RE:Alice』演出。(一社)現代舞踊協会中部支部運営委員。

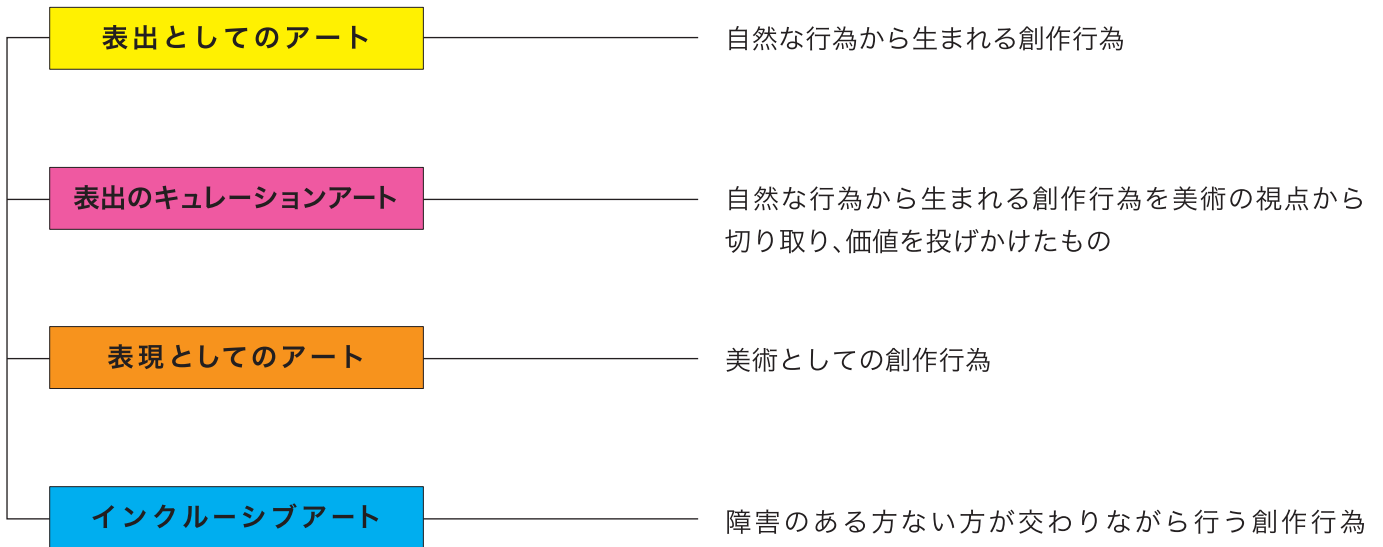
井垣 理 史

名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科 講師

1973年生まれ。愛知県立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了(油画専攻)。「間」や「際」をテーマとして、インスタレーションやパフォーマンスの空間演出を中心とした制作活動を行い、舞台美術やイベントディスプレイの制作も手がける。主な実績として、2010年あいちトリエンナーレ2010、キッズトリエンナーレ「小さい美術館」展示空間設計・施工(愛知県児童総合センター)、2013～2015年「waltz (中川運河映像アーカイブプロジェクト)」空間設計・施行担当など。

企画概要

通常、美術の展示においては、プロとアマに分けられる。更に障害のある方は分けて展示されてきた。それは、ひとえに、障害への無理解から行われていることであり、その考え方、捉え方自体が、芸術の世界での、そして障害のある方への理解を難しいものになっている。今大会では、そういったカテゴリー分けをすることで問題点を整理し、作品の内面に対しても、きちんと踏み込み紹介する。



さわ かん せい
騒げ、感性。

アートを通じて新しい感性に出会う。
 私たちが目指すのは、今日とは違う新しい社会。
 社会は、ただ緩やかなグラデーションを持っているだけ。
 ただそれだけのはずが現実的にはボーダーがある。私たちが目指す理想は、お互いを認め合うボーダーのない社会。そのためには、新しい感性が必要だ。
 人が何を思うのか。何を感じて生きているのか。
 お互いの感性を解放し、その呼吸を感じてほしい。
 その先にある新しい社会を目指してアートでつながる新しいまつり。感じるままに、思うがままに。
 騒げ、感性。

事業内容 芸術・文化祭

美術・文芸作品(12月3日～11日)

- 全国から障害のある方の美術・文芸作品を募集し展示します。

	表出としてのアート	表出のキュレーションアート	表現としてのアート	インクルーシブアート
展示期間	平成28年12月6日(火)～11日(日)			
展示会場	名古屋市民ギャラリー栄			
ジャンル	絵画、書道、写真、彫刻、陶芸、オブジェ、刺繍、短歌、俳句、川柳 等			
応募部門	自由部門とテーマ部門(テーマ:なんだこれは!?) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> テーマ説明 </div> 思わず「なんだこれは!?!」と言ってしまうような、いわゆる「芸術」の枠にとどまらない作品を募集します。			
応募点数	1人(1グループ)1点			
応募期間	平成28年6月27日(月)～8月31日(水)			
募集作品数	500点程度			

- 県内外で活躍しているアーティストの作品や県内の市町村・団体・民間企業等の活動などを紹介します。

	表出のキュレーションアート	表現としてのアート
展示期間	平成28年12月3日(土)～11日(日)	
展示会場	愛知芸術文化センター、名古屋栄三越、株式会社三井住友銀行SMBCパーク 栄	
展示作品数	70点程度	

※主な出展作家はP6参照

- 県内から公募し、国民文化祭開催期間中(10/29～12/3)に開催する「あいちアール・ブリュット展」の中から選出した優秀作品を展示します。

	表出のキュレーションアート
展示期間	平成28年12月3日(土)～11日(日)
展示会場	愛知芸術文化センター
展示作品数	30点程度

【出展作家】



山下清「庭」1936年
(おかざき世界子ども美術博物館所蔵)

山下清(1922-1971年)

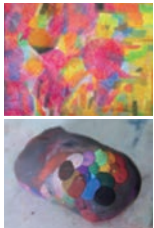
東京市浅草区(現台東区)生まれ。1934年八幡学園に入園。学園で制作した貼絵作品が同園の顧問医であった精神科医戸川行男らの目に留まり、1938年早稲田大学で開催された「特異児童労作作品展覧会」に出品される。以後、多数の展覧会を開催。マスメディアに「日本のゴッホ」と紹介されたことや、放浪のエピソードをドラマ化した「裸の大将」はあまりに有名。



澤田真一「無題」2006年-2007年

澤田真一

1982年生まれ。滋賀県在住。2008年に作品がスイスの「アール・ブリュット・コレクション」に収蔵されている。2010年「ART BRUT JAPONAIS」(パリ・アルサンピエール美術館)出展。2012年「アール・ブリュット・ジャポネ」(高浜市やきものの里かわら美術館)出展。その他多くの展覧会で取り上げられる。2013年「第55回ベネチア・ビエンナーレ」出展。2014年「ボーダレス・アート・コレクションー芸術がほどいてゆく境界ー」(高浜市やきものの里かわら美術館)



岡部志士
絵画:「夏のコンポジション」2012年
立体:「コロイチ」2014年

岡部志士

1994年、石川県金沢市生まれ。2007年、自由芸術教室「HUMAN ELEMENT」にて作品制作をはじめ。岡部はまずクレヨンを用いて画面に色面を描き、色を消すようにニードルで表面の顔料を削ってゆく。そして削れたクレヨンのカスを集めて粘土のように遊びながら作品を制作するが、実は岡部自身にとっては粘土となった削りカスこそが作品であり、絵画はそのための手段なのである。2013年「伊勢市美術展覧会」奨励賞、2012年「みえ県展」入選。



岩瀬由晴「My Collection」
2013年-2014年

岩瀬由晴

1971年、安城市生まれ。5歳のころから紙ちぎりをしていた。子供のころより、自分の好きな部分を切り抜いた新聞やチラシをノートパソコンほどのサイズのダンボールにセロハンテープで貼り重ねてゆくことをライフワークとしている。この制作活動は誰かが制止するまで続けられ、新しいものに差し替えられるまで高く積みあがってゆく。制作したものはセロハンテープで全体を包み、枕などにして常に身の回りに持っている。現在も半田市の福祉施設でライフワークを続けている。



安藤昇「鹿」2012年

安藤昇

1957年生まれ。愛知県在住。1999年「第1回生の芸術フール展」をはじめ愛知県内のさまざまなコンクールで受賞。2009年「境界なきアート展～響きあうココロへ～」(豊川市桜ヶ丘ミュージアム)出展。2012年「MO-YA-COアートプロジェクト」出展。2014年「ボーダレス・アート・コレクションー芸術がほどいてゆく境界ー」(高浜市やきものの里かわら美術館)

舞台芸術(12月9日～11日)

- 全国から障害のある方又は障害のある方を含むグループの舞台芸術を募集し、発表します。

	表出としてのアート	表出のキュレーションアート	表現としてのアート	インクルーシブアート
発表日	平成28年12月10日(土)～11日(日)			
会場	ナディアパーク(名古屋市青少年文化センターアートピアホール) 損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール			
ジャンル	音楽、ダンス、演奏等 ※ジャンル不問			
募集内容	大会の舞台で音楽やダンス等を発表する出演者を募集			
応募期間	平成28年6月27日(月)～8月31日(水)			
募集团体数	20団体程度			

- 障害のある方を含む複数のグループを県内から公募し、大会プロデュース舞台「親指王子」を発表します。

	表現としてのアート
発表日	平成28年11月20日(日)、12月10日(土)
会場	刈谷市総合文化センター、ナディアパーク(名古屋市青少年文化センターアートピアホール)
演目等	(演目) 親指王子 (内容) 親指王子! ?と、それを取り巻くカエル、コガネムシ、さかな、リス、ノウサギ、ノネズミ、モグラ、花の妖精たちが織り成す舞台を総勢約100名で演じる。 (台本・演出・振り付け)こかちかこ(プロデューサー) (衣装デザイン)稲波伸行 (舞台美術デザイン)井垣理史
応募期間	平成28年6月27日(月)～7月22日(金)
募集团体数	10グループ(100名程度) 1グループは、指導者1～2名と障害のある方からなる10名程度。グループ構成員全員が、愛知県に在住・在学または在勤であること。

- 県内外で活躍している団体等の舞台芸術を発表します。

	表現としてのアート
発表日	平成28年12月9日(金)～11日(日)
会場	ナディアパーク(名古屋市青少年文化センターアートピアホール) 損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール等
ジャンル	車いすダンス、語り部、人形劇、演奏等
出演団体数	10団体程度

※主な出演団体等はP8参照